

地域農業マスタープランの見直しを定期的に行い、園芸品目導入や6次産業化を推進(北上市更木地区)

機構
の活用

話合い
の工夫

基盤整備
の活用

法人化

地域の概要

- ・ 65歳以上の高齢化率が10年前に比べおよそ10%増加
- ・ 農業従事者の高齢化が進み、将来の担い手不足が懸念

取組の成果

- 地区内の任意組織を合併・法人化し、地区内の農地を法人に集積
担い手への農地集積率:[取組前(H24)] 53.4% ⇒ [取組後(H28)]86.6%
- 里いも、玉ねぎ等の園芸品目を導入し、経営を複合化
- 加工品や地元料理を活かした産直や農家レストランを整備し、6次産業化の取組を強化

北上市



<マスタープラン基礎データ>
作成済地域数:13
28年度見直し地域数:13

取組のポイント

マスタープランの検討・見直し

- ・ 県、市、JAが連携し、マスタープランの検討や見直しを年2回実施し、現状の課題把握と解決に向けた取組を積極的に実施

法人設立・農地集積の取組

- ・ 平成15年から25年にかけて実施した基盤整備を契機に集落営農に取り組み、平成25年に、地域内の4集落営農組織が合併・法人化し、「農事組合法人さらき」を設立
- ・ マスタープランの中心経営体として位置づけ、農地中間管理事業を活用し、法人に集積

複合化、6次産業化の取組

- ・ 水稻を主に農地集積を図っているほか、転作田を利用し、そば、里いもや玉ねぎ等の多品目の露地野菜を作付し、農地を有効活用
- ・ 平成29年2月には、「さらきの里ふれあいセンター」がオープンし、地元産の野菜販売や、桑などの地場産品を使った加工品販売、農家レストラン等の6次産業化の取組を強化



里いものほ場



さらきの里ふれあいセンター
で開催された地区の祭り